

## つながりの必要性とは？

これまでの会議で出た意見

つながる≡他者と関わり合う  
色々な人と知り合う  
子どもが声をかけてくれるような関係を築く



心が温かくなる  
ありがたさを感じる  
喜びを感じる  
感謝される喜びを知る  
自分では思わない気づきを得る  
新しい価値観がもたらされる



自己成長のきっかけ  
人生が豊かに  
居場所ができる（≡ 自己肯定感、安心感 ≡ 幸せ）

つまり…？

『つながりは、自分の居場所があるという肯定感や安心感を育むものです。また他者との関わりの中から得られる気づきは、新しい価値観を受け入れることや自己成長につながり、人生を豊かにすることができるので、重要です。』

## 必要とされるつながりのきっかけづくり、つながりを持つ工夫は？

これまでの会議で出た意見

- ゆるやかなつながりづくり、その人にとって適度な距離間のつながり  
→ハードルが低い（拘束されない、勧誘されない、自分の都合のいい時間に） + 細かい情報提供
- つながることにメリットを感じていない人を巻き込む  
→個人で没頭できる環境を提供して、しかしその周りにはたくさんの人がいて、そこで何らかの接点が生まれるような仕組み
- 子どもを巻き込む（ ⇒地域活動に参加するという素地を育む ）  
→子供が小さい内に大人の活動を見せることができると、その子が大きくなったときに、自然に活動がつながっていく  
→子供の時に当たり前のように参加している親を見て、自分も親になった時に、子供を連れて参加することが自然になる  
→「大人って楽しそうだな」と感じてもらう  
→親子で「今日楽しかったね」を共有してもらう